

相模中学校だより 5月号

令和2年5月11日 発行：校長 金子憲勝
(カラー版は学校ホームページに掲載しています)

新学期がスタートして1か月が経過しましたが、今年度は例年とは大きく違い「新型コロナウイルス感染症対策」として臨時休業が続き、生徒の声のしない寂しい新学期のスタートになりました。5月7日から学校を再開する予定で色々準備をしていたのですが、未だ感染症は収まっておらず学校を再開することができない状況です。私としては、一刻も早く生徒や保護者の皆様と顔を合わせて話したいのですが、その思いもなかなか実現できずに『我慢』をしています。私同様に、皆様も不自由な生活を強いられており『我慢』しておられるので、少しでも明るくなる話題をこの「相模中学校だより」でお伝えしたいと思っています。

まずは、着任式と始業式のことを載せます。今年度の着任式と始業式は、体育館で行うのではなく、『三密（密閉・密集・密接）』を避けるために、生徒は各教室で放送を聞きました。先生方からの報告によると、着任式と始業式はともに生徒は静かに放送を聞くことができたとのことでした。また、その時には生徒会長と副会長に話をしてもらいましたが、さすが相模中学校を代表する生徒らしく、とても堂々と聞き取りやすい声で挨拶をしていました。

次に、入学式の準備を生徒と職員で行ったのですが、短時間できばきと作業を行っていたので、この場面でもさすが相模中生と感心しながら、私は生徒の動きを見ていました。

入学式は、短時間で出来るように例年より内容を大きく変えて実施しましたが、新入生182名を迎えることができ安堵しました。本来であれば、2・3年生や先生方が協力して飾りつけた各教室の様子を保護者の皆様に見ていただきたかったのですが、それが出来ないままだったので、飾りつけの一部を以下に紹介いたします。生徒と職員が、1年生の入学をお祝いして心を込めて準備したものです。

